



# 兵 肢 協 会 報

発 行 所

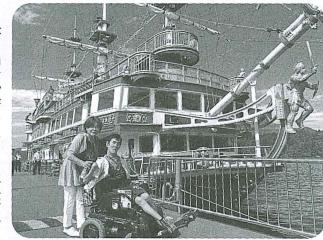
〒651-0062  
神戸市中央区坂口通2丁目1-1  
兵庫県福祉センター内

兵庫県肢体不自由児者協会

T E L 078-241-9907  
F A X 078-241-9908  
E-mail:hyoshikyo@nifty.com  
URL:<http://hyoshikyo.d.doo.jp>

## 「ありがとう」のバトン

一般財団法人兵庫県肢体不自由児者協会 理事会  
進 元 文 枝



昨年九月、四年ぶりに協会からの「愛と友情の旅」に親子で参加させて頂きました。コロナの影響で外出する事に慎重になっていた息子と共に、久々に旅行が出来た喜びと青年会員の皆さんと再会できた嬉しさが相まって楽しむ一泊三日の旅でした。この旅の計画と実行に当たり、「ご尽力頂いた事務局をはじめ旅行会社やボランティアの方々に感謝申し上げます。出歩く事が好きな親子ですから機会のある度に外出をと思うのですが、私も歳を重ねる毎に「いつまで一緒に行動ができるのかしら」と若い気持ちとは裏腹に介助面での不安が過るほどあります。しかしながら、子供を通して知り合えた先輩方は今もなお変わらず我が子の為にと奮闘していらっしゃいます。そのお姿を拝見しますと、まだまだ私も頑張れる力を感じております。

この「母親の原動力はどこからきてるのか?」と考えた時、やはり「気合い」であろうと思います。これに加えて私の場合、息子が通つた養護学校時代での出会いが、その後の人生に大きな影響を与えてくれました。

小学部入学から七年間くらいだったと記憶しておりますが、養護学校では親が介助や教室移動等のお手伝いの為控室で待機する時間がありました。そこでは自然と親同士での交流も深まり、先輩方から学ばせて頂く事もありました。先生方からも助言や「お母さん達が頑張っているから」と力になつて下さる事も多く、人に支えられている感謝とともにその存在はとても心強いものでした。「人の力になれる人間でありたい」これらの経験が私の原動力なのだと思います。息子にとつても学びや刺激が多かつたこの学校生活は、今の自己に大きな影響を与えて下さいました。

四〇代後半となつた彼は全面的に介助がなければ生活はできません。肩や腰の痛みや筋緊張を、三ヶ月毎のボトックス注射や趣味に没頭することで和らげながら、自分らしく生活を過ごせています。

十数年前になりますが、息子の精神的な成長を感じる出来事がありました。肺膜瘻で右肺の中の膿を抜く為、緊急入院を余儀なくされた時の事です。先に主治医から治療内容や今後の生活環境等を母である私が説

明を受けるのは当然ですが、その際息子は、「自分の体の事だから自分が聞いて判断したい」と訴えたのです。自分の意思を明確に伝え、自身の今後を判断しようとする彼の姿はまさに驚きで、長年育んできた息子の新たな一面を知った瞬間でもありました。退院後はヘルパーさんの介助を受けながら体調面に気をつけて生活しており、そんな前向きな姿に力をもらっています。

現在私は、生まれ持った障がいのあるお子様の支援に、微力ながらお手伝いさせて頂いております。療育に携わっておりますと、そこから学ぶことや感じる事が多くあります。

いつの時代も、親が子を思う気持ちは変わらず、幼ければ幼いほど発達の遅れや障がいが育児の上で悩みになるのでしょうか。日々親御さんから子育てや子供の進路、家庭での心配事等、様々なお話をお聞きします。私の知識と経験の限りで共に寄り添い、正解のない子育てについて一緒に考えていくのがやりがいとなっています。

障がいのある者にとって、生きがいをもつて生活できる環境、希望を持つて働ける場所はまだまだ必要で、「自分らしく生きていく場」を待つておられる方は多くいらっしゃいます。そんな声を聞く度に、まだまだお手伝い出来ないかと考えてしまっています。

「もう少し、出来る限り福祉に携わっていきたい」それが今まで息子と私に関わり、成長させて下さった方々へのお返しであると思つています。息子の誕生と共にスタートした福祉の道は、まだまだ成長途中。頂戴した感謝のバトンを次の世代に繋げなければなりません。体力が続く限り必要とされる方の思いに耳を傾け、「縁の下の力持ち」の精神で邁進していくべきだ!と存続です。

### 肢 体 不 自 由 児 者 協 会 は

肢体不自由児者の愛護思想の普及、療育等に関し必要な事業を行い、肢体不自由児者の福祉の増進を図ることを目的とし、そのため、そのために、

一 肢 体 不 自 由 児 者 の 愛 護 思 想 の 普 及

二 肢 体 不 自 由 児 者 の 療 育 相 談 及 び 更 生 相 談

三 肢 体 不 自 由 児 者 の 教 育 の 援 護

四 肢 体 不 自 由 児 者 の 激 励 慰 安

五 肢 体 不 自 由 児 者 に 関 す る 刊 物 等 の 発 行 及 び 幹 旋

六 肢 体 不 自 由 児 者 の 福 裕 に 関 す る 調 査 及 び 研 究

七 肢 体 不 自 由 児 者 の 教 育 の 改 善 及 び 連 絡